

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		特別児童扶養手当事務等				整理番号	271		枝番号			
担当部課名		保健福祉部 障害者施策課		コード	091004		連絡先電話番号	1147		昨年度整理番号	268	
係名				障害者福祉係				上位施策名		No		
予算事業名				心身障害者福祉手当等支給		コード	34550		障害児の援護の充実		27	
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		39年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 特別児童扶養手当等の支給に関する法律、 (2) 特別児童扶養手当等の支給に関する法律施行令、同省令 (3) 特別児童扶養手当の支給に関する法律に基づく都道府県及び市町村に交付する事務費に関する政令					
	特別児童扶養手当受給対象者等											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
1 特別児童扶養手当の支給は東京都が行っており、区は認定請求書の受理、進達、証書の交付事務等を担当。 2 特別障害者手当支給 月26,440円 3 障害児福祉手当支給 月14,380円 4 (国)福祉手当支給(経過措置分) 月14,380円				心身、精神に障害を有する者(児童)及び監護する者等に手当を支給することにより、対象者の福祉の増進を図る。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 受給者数(特別児童扶養手当・特別障害者手当・障害児福祉手当・(国)福祉手当)				(1) 総支給額(特別障害者手当・障害児福祉手当・(国)福祉手当)								
(2)				(2)								
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	人	795	776	882	779	801					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	千円	154,151	155,289	169,884	150,991	160,253					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	154,393	155,478	170,154	151,215	160,613	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)投資的経費等	千円										
	(内)委託費	千円										
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.96	0.96	0.96	0.96	0.99					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	8,634	8,736	8,698	8,698		8,969			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0			
	総事業費 ++	千円	163,027	164,214	178,852	159,913	169,582					
	単位あたりコスト( - )÷	円	205,065	211,616	202,780	205,280	211,713					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円	117,604	118,528	127,828	113,381		120,539			
特定財源計 +		千円	117,604	118,528	127,828	113,381	120,539					
差引:一般財源 -		千円	45,423	45,686	51,024	46,532	49,043					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み	内 容		規模		単位	事業費(千円)						
	特別障害者手当・障害児福祉手当・(国)福祉手当支給		延6,520		人	150,991						
	嘱託医謝礼金		12		回	163						
	特別児童扶養手当支給事務費					61						
	その他 ( )					0						

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	88.3	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	88.9
延支給人数は特別障害者手当・(国)福祉手当では減、障害児福祉手当では増(いずれも対前年度比)。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
手処理部分の事務の電算化は、対象件数が少ないこともあり進んでいない。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	政令により手当額の改定が行われており、平成18年4月1日から 特別障害者手当 = ￥26,440 障害児福祉手当 = ￥14,380 (国)福祉手当 = ￥14,380となっている(いずれも月額)。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)					
	今後の予測	特別児童扶養手当及び障害児福祉手当は少子化により対象者の減少が見込まれる一方で、特別障害者手当の対象者は人口の高齢化に伴い増加が見込まれる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )		理由: 社会経済情勢が厳しい中で、一定額の手当支給は受給者への援護の一部となっている。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )		理由または具体的内容:			
	成果向上のための方策 その他(具体的内容 )		理由または具体的内容: 受給資格が見込まれる方に対して制度を周知する(広報・窓口・電話相談等)。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )		理由または具体的内容: 国の制度による手当であるため、その性格上見直しの余地はない。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )		理由または具体的内容: 国の制度であり、事務処理は国が制定した事務取扱細則準則によって行っているため、事務処理の簡素化を図ることは難しい。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )		協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄	
	(2) 協働等の相手		協働等による成果と課題: 手当の性格上、協働等にはなじまない。			
	(3) 協働等の形態					
今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 受給資格が見込まれる方へ制度を周知するために、窓口や電話での相談・案内を充実させるとともに広報への掲載等を行う。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 (国)福祉手当は経過的措置により支給しているため、新規の申請は受付していない。特別障害者手当は増加、障害児福祉手当は減少が見込まれるが、手当支給に掛かる予算は全体的には横ばい傾向になると見込まれる。					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童育成手当(障害手当)				整理番号	272		枝番号			
担当部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	091004		連絡先電話番号	1147		昨年度整理番号	269	
係名					障害者福祉係			上位施策名		No		
予算事業名					児童手当・児童育成手当支給		コード	40150		障害児の援護の充実		27
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区児童育成手当条例、同施行規則					
	身体障害者手帳1・2級、愛の手帳1～3度、脳性麻痺、進行性筋萎縮症を有する児童を扶養する父または母				(2)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				(3)							
上記の障害児を扶養する父または母に対する生活の支援。月額17,000円				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 対象児童数				(1) 対象児童数の対前年比								
(2)				(2)								
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	名	177	195	189	186	207					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%	94	101	98	95	111					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	37,785	39,480	38,629	39,012	42,302	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)投資的経費等	千円										
	(内)委託費	千円										
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.21	0.21	0.21	0.21	0.22					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,889	1,911	1,903	1,903		1,993			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0			
	総事業費 + +	千円	39,674	41,391	40,532	40,915	44,295					
	単位あたりコスト( - )÷	円	224,147	212,262	214,455	219,973	213,986					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	39,674	41,391	40,532	40,915	44,295					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)			
	手当支給								38,947			
	支給事務費								65			
	その他 ( )								0			

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	98.4	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	101.0
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成10年度258人、平成11年度262人、平成12年度190人(所得制限導入による減)以後15年度までは微減で推移、16・17年度に当初予算を上回る実績があった。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	厳しい社会情勢の中、本事業に対する期待は大きい。				
	今後の予測	18年度についても増加が見込まれる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 障害者を扶養する保護者を支援するうえで、障害児の福祉の増進、保護者の経済的負担の軽減に貢献している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	所得制限を設けている。  理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 育成手当ての性格から、受益者負担はなじまない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 経済的給付施策の見直し対象事業である。				
	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 育成手当ての性格上、区が実施すべきである。					
(3) 協働等の形態						
今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 障害者自立支援法の施行を機に障害者施策の再編を検討する中で、利用者負担や他の経済的給付施策との関連を考慮しつつ、生活実態を把握しながら事業内容を見直す必要がある。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	今後も微増傾向が続くと思われる。				

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害児保育				整理番号	408		枝番号					
担当部課名		保健福祉部保育課		コード	092601		連絡先電話番号	1373		昨年度整理番号	395			
係名				管理係				上位施策名		No				
予算事業名				保育園運営		コード	40750		障害児の援護の充実		27			
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		59年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 児童福祉法第24条第1項、第39条							
	保護者が昼間に居宅外で常態的に労働しているなどで保育に欠けている障害児						(2) 児童福祉施設最低基準(厚生省令)							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				障害のある児童を預かり保育を実施する。		(3) 杉並区保育の実施に関する条例							
活動指標名(式)				(1) 障害児保育在籍児童数 (2) 障害児保育を行った保育園数		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 障害児保育を円滑に運営し、障害児の福祉の増進を図る。								
成果指標名(式)				(1) 実績率 = 障害児保育入園児童数 ÷ 障害児保育入園申請者数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 実績率 = 障害児保育入園児童数 ÷ 障害児保育入園申請者数 (2)								
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度計画		17年度実績		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		人	844		844		840		827		852		
	活動指標(2)		所	36		36		44		34		44		
	成果指標(1)		%	92		71				89				
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	52,587		43,061		45,617		54,418		45,196	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成17年4月より国の三位一体の改革により補助金が交付金に変更され、平成18年度の交付金等は未定。 17年度事業費は正規職員の欠員分を臨時職員等で対応したため人件費が増となった。	
	(内)投資的経費等		千円											
	(内)委託費		千円											
	職員数(常勤   非常勤)		人	28.70	0.60	28.81	0.60	28.81	0.60	29.86	0.60	29.86		0.60
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	258,128		262,171		261,019		270,532			270,532
		非常勤職員分		千円	1,655		1,728		1,734		1,734			1,734
	総事業費 + +		千円	312,370		306,960		308,370		326,684		317,462		
	単位あたりコスト( - )÷		円	370,107		363,697		367,107		395,023		372,608		
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円	1,526		1,305		2,000		1,792			0
特定財源計 +		千円	1,526		1,305		2,000		1,792		0			
差引:一般財源 -		千円	310,844		305,655		306,370		324,892		317,462			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
17年度の主な取組み			内 容						規模	単位	事業費(千円)			
			医員及びパートタイマー報酬						7,181	人	54,070			
			保育材料費								348			
			その他 ( )								0			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	98.5	活動指標(2)の17年度達成率%	77.3	17年度予算執行率%	119.3
		正規職員の欠員分を臨時職員等で対応したため人件費が増となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成17年9月に「保育サービスあり方検討部会」により「保育サービスの新たな展開」が報告され、障害児保育等の特別保育事業の充実のほか、保育士定数の見直しと保育充実のための必要な要員配置が報告され、これに基づき実施する。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	障害児保育指定園を設けて職員の増配置や、特別保育室の設置等の保育条件を整備し障害児を受け入れている。現在までに指定園を1園から5園に増やし、一般園においても、1~2名の受け入れを可能としている。さらに、15年4月1日からは、指定園において定員外で最大7名の障害児を受け入れている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	障害児の入園については、保護者の要望に応えているが、重度の障害児の保護者からも保育園入園の要望がある。					
	今後の予測	保育を必要とする障害児は、今後も増加するものと見込まれる。また、障害児の入所要件等の見直しも必要である。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 障害児保育は、杉並区基本計画・実施計画における「障害児保育の拡充」にも掲げており、その実施は、安心して子どもを産み育てられる社会の実現及び子どもの健やかな成長に大きく貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 障害児の受け入れ拡大については、保育士等の定員の増大を伴うため。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 通常保育料以外に障害児保育に関する費用について別途料金を徴収していない。なお、通常保育料については、家庭で保育をしている世帯と認可保育所を利用している世帯の受益者負担の適正化を図るため、社会経済情勢の変化や他区の状況を踏まえ、保育料の見直しが必要である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 主な経費が人件費のため大幅な削減は困難である。					
	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題: H14.7に出された「保育サービス提供のあり方検討会」の最終報告において、今後の公立園は、民間委託に馴染みにくく、受入れが困難な障害児保育等の特別保育事業を充実させる必要が報告された。また、障害児保育のみを分離して委託することは、好ましくないため、区が一体的・継続的に実施する必要がある。						
(3) 協働等の形態							
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成17年9月に「保育サービスあり方検討部会」により「保育サービスの新たな展開」が報告され、障害児保育等の特別保育事業の充実のほか、保育士定数の見直しと保育充実のための必要な要員配置が報告され、これに基づき実施する。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 障害児保育を実施するには、適正な人材の確保が重要となる。しかし、現行の短期間のアルバイト保育士では、人との関わりが重要である障害児保育の質を確保するのは難しい。アルバイト以外の安定的な人材確保策の導入やアルバイト職員に対する研修体制の整備や雇用期間等の見直しの検討が必要である。							
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	引続き障害児保育の充実を図る。					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		施設維持管理				整理番号	432		枝番号		
担当部課名	保健福祉部障害者施策課			コード	901011	連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	420	
係名	こども発達センター				上位施策名	No					
予算事業名	こども発達センター維持管理			コード	38250	障害児の援護の充実			27		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等 (1) 児童福祉法 (2) 杉並区立こども発達センター条例 (3) 杉並区立こども発達センター運営要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 建物の維持管理 施設運営に関する事務				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 利用者が安全・快適に利用できるよう、施設を良好な状態に維持し、提供する。						
	活動指標名(式) (1) 施設提供面積(開所日数 * (1775㎡) - 提供不能日数 * 提供不能面積) (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		件	6	440,200	434,875	434,875	518,300	434,875	100.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)										
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	21,856	19,070	21,634	22,026	22,807	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 15年度までは、活動指標(1)を修理件数としたが、16年度からは施設提供面積に変更した。		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円	9,593	9,575	10,510	9,818	9,571			
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.53	1.00	1.00	1.00	1.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	13,761	9,100	9,060	9,060			9,060
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	35,617	28,170	30,694	31,086	31,867			
	単位あたりコスト( - )÷		円	5,936,167	64	71	71	61			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	35,617	28,170	30,694	31,086	31,867				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		その他		(光熱水費・維持管理経費・保守管理委託費)							22,026

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	101.8
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		計画どおり、利用者に施設の提供ができた。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	発達障害の疑いのある児が増加しているため、たんぼぼ園の定員増を行い、会議室を指導室に転用して対応している。また、言語心理指導の利用者増により、個別指導室の稼働状況が限界に達しているため、18年度は暫定的に土曜日を開所して対応している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	発達障害者は幼児期から成人期まで様々な困難を抱えており、一貫した支援体制の構築が求められている。					
	今後の予測	今後も発達障害者の利用増が見込まれるが、施設規模が限界に達している。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 施設を良好な状態で維持し、利用者が安全で快適に利用できている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 早めの予防的修繕や、事件・事故を未然に防ぐ努力をし安全に施設を利用していただく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 施設の維持管理経費は区が負担すべきであり、施設利用料等の徴収はなじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか	理由または具体的内容:					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 グループ指導や個別指導ともに件数は増加しており、サービス対象に対する施設規模は限界を超えている。増加する発達障害者に対する相談やグループ指導については、その方策や実施場所についてこども発達センター以外での実施も検討する必要がある。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・施設改修や、新たな施設の建設には多大なコストが必要である。 ・関係各課(児童、教育分野)との連携、協働により、他既存施設等の有効活用によりコストを下げる余地があると考え。							
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	会議室を指導室に転用する改修工事は終了するが、経年劣化に対する修繕や安全対策に係る改修工事が必要なため、増減は少ないと見込まれる。					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		給食運営			整理番号	433		枝番号			
担当部課名	保健福祉部障害者施策課			コード	091011	連絡先電話番号	5317-5661	昨年度整理番号	421		
係名	こども発達センター			上位施策名	No						
予算事業名	こども発達センター事業運営			コード	36550	障害児の援護の充実		27			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 児童福祉法						
	たんぼぼ園在籍児及びその保護者、給食指導職員				(2) 杉並区こども発達センター給食実施要領						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 通園児への昼食の提供 児童の口腔機能に応じた形態の調理 摂食指導の実施				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 集団の場での喫食に慣れ、健全な発育に必要な栄養を確保する 口腔機能の向上と食域の拡大 味付けや調理の工夫及び栄養面について保護者への啓蒙をする						
活動指標名(式) (1) 給食提供数 (2) 特別な形態食・アレルギー除去食を必要とする児童数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 給食提供延べ数 ÷ 対象者延べ数 = 給食実施率 (2) <small>(代)口腔機能向上児 ÷ 特別な形態食・アレルギー除去食を必要とする児童数 = 特別食実施率</small>							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		食	16,214	19,760	20,000	19,504	20,000	20,000	97.5	
	活動指標(2)		人	25	27	30	32	30	30	106.7	
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100	100.0	
	成果指標(2)		%	48	14	48	15	20	20	75.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	13,298	15,803	16,232	15,733	16,016	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 「国・都からの支出金」は、通園グループ指導(たんぼぼ園)として給食費分も含めて一括交付されているが、内訳は不明の為ここに計上できなかった。		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円	12,682	15,565	15,963	15,541	15,747			
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.41	1.81	1.81	1.81	1.81			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	12,682	16,471	16,399	16,399			16,399
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	25,980	32,274	32,631	32,132	32,415			
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	1,602	1,633	1,632	1,647	1,621			
	財源	受益者負担分		千円	3,029	3,688	4,159				
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	3,029	3,688	4,159	0	0				
差引:一般財源 -		千円	22,951	28,586	28,472	32,132	32,415				
受益者負担比率 ÷		%	11.7	11.4	12.7	0.0	0.0				
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)		
			その他		( )					15,733	

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の17年度達成率%	97.5	活動指標(2)の17年度達成率%	106.7	17年度予算執行率%	96.9
17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	給食提供を義務づけた国の方針に変更は無い。他施設とのバランスを図り、食材費のコストを下げた。個々の口腔機能にあわせた形態食に加え、アレルギー除去食の提供を行っている。暫定対応の定員増に伴い、食数の変更を行った。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	家では食べない物を食べるきっかけになり、食域が広がった子もいる。親子グループの保護者にも給食を提供して欲しいと言う要望がある。				
	今後の予測	食べる事に興味がうすい、発育がゆっくりで月齢に合わないなど、給食を通じての援助がより必要になることが考えられる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 栄養摂取だけでなく、口腔機能の状況に応じた食事に関してなど保護者の理解を容易にし、児童の健康維持に結び付けている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 親子グループの保護者にも給食を提供する事で、成果はあがる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 給食費の見直しはおこなったばかりである。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: すでに委託しており、安全な給食を提供する為には、これ以上のコストダウンは難しい。				
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
協働等点検	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 献立の作成は非常勤栄養士が行い、委託業者が実際の調理を行っている。形態食やアレルギー除去食の提供など細心の注意が必要であり、栄養士を中心に日々連携をとっている。専門的な仕事内容の為、委託業者の変更に伴う混乱が考えられる。				
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減			
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		利用者通所バス(たんぼぼ園通園バス)			整理番号	434	枝番号																																																																																																																																																																																																																						
担当部課名		保健福祉部 障害者施策課		コード	091011	連絡先電話番号	5317-5661	昨年度整理番号	422																																																																																																																																																																																																																				
係名				子ども発達センター		上位施策名		No																																																																																																																																																																																																																					
予算事業名				子ども発達センター事業運営		障害児の援護の充実		27																																																																																																																																																																																																																					
事業開始年度				●昭和 ○平成 9年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業																																																																																																																																																																																																																							
事務事業の概要	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等																																																																																																																																																																																																																						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 児童福祉法 (2) 杉並区立子ども発達センター通園グループ通所バス運行要綱 (3)																																																																																																																																																																																																																						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				住所や身体状況を考慮した停留所を設定し、マイクロバス3台で送迎する。 また、社会体験・保育園交流・アフターグループ等の交通手段として運行する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 子どもがかかえている課題を解決するために、利用者利便を図り、療育の動機づけや継続的通園を支援する。																																																																																																																																																																																																																						
	活動指標名(式)				(1) バス運行日数 (2) バス利用回数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) $\text{バス運行回数} \div \text{バス運行日数} = \text{一日の平均運行回数}$ (2)																																																																																																																																																																																																																						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">15年度実績</th> <th rowspan="2">16年度実績</th> <th colspan="2">17年度</th> <th rowspan="2">18年度計画</th> <th rowspan="2">目標値 22年度</th> <th rowspan="2">目標値に対する17年度の達成率%</th> </tr> <tr> <th>計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">指標</td> <td>活動指標(1)</td> <td>日</td> <td>254</td> <td>254</td> <td>254</td> <td>252</td> <td>254</td> <td>99.2</td> </tr> <tr> <td>活動指標(2)</td> <td>回</td> <td>2,154</td> <td>3,343</td> <td>3,343</td> <td>3,522</td> <td>3,343</td> <td>105.4</td> </tr> <tr> <td>成果指標(1)</td> <td>回</td> <td>8</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>107.7</td> </tr> <tr> <td>成果指標(2)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">総事業費・コスト把握</td> <td colspan="2">事業費</td> <td>千円</td> <td>33,365</td> <td>36,389</td> <td>36,025</td> <td>36,025</td> <td>35,647</td> <td rowspan="10"> <b>特記事項</b>            (指標、事業費等の変化の理由など)            「国・都からの支出金」は、通園グループ指導(たんぼぼ園)に含まれる。            * 国・都からの支出金は、通園指導(たんぼぼ園)としてバス運行分も含めて一括交付されているが、内訳については不明のためここに計上できなかった。         </td> </tr> <tr> <td colspan="2">(内) 投資的経費等</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">(内) 委託費</td> <td>千円</td> <td>33,365</td> <td>36,389</td> <td>36,025</td> <td>36,025</td> <td>35,647</td> </tr> <tr> <td colspan="2">職員数(常勤   非常勤)</td> <td>人</td> <td>0.51</td> <td>0.51</td> <td>0.51</td> <td>0.51</td> <td>0.51</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人件費</td> <td colspan="2">常勤職員分(超勤分含む)</td> <td>千円</td> <td>4,587</td> <td>4,641</td> <td>4,621</td> <td>4,621</td> <td>4,621</td> </tr> <tr> <td colspan="2">非常勤職員分</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">総事業費 ++</td> <td>千円</td> <td>37,952</td> <td>41,030</td> <td>40,646</td> <td>40,646</td> <td>40,268</td> </tr> <tr> <td colspan="2">単位あたりコスト( - )÷</td> <td>円</td> <td>149,417</td> <td>161,535</td> <td>160,024</td> <td>161,294</td> <td>158,535</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源</td> <td colspan="2">受益者負担分</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">国・都等からの支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">特定財源計 +</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">差引: 一般財源 -</td> <td>千円</td> <td>37,952</td> <td>41,030</td> <td>40,646</td> <td>40,646</td> <td>40,268</td> </tr> <tr> <td colspan="2">受益者負担比率 ÷</td> <td>%</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="6">17年度の主な取組み</th> <th colspan="5">内 容</th> <th>規模</th> <th>単位</th> <th>事業費(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td colspan="8"> </td></tr> <tr><td colspan="8"> </td></tr> <tr><td colspan="8"> </td></tr> <tr><td colspan="8"> </td></tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="5">( )</td> <td></td> <td></td> <td>36,025</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody></table>										区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	計画	実績	指標	活動指標(1)	日	254	254	254	252	254	99.2	活動指標(2)	回	2,154	3,343	3,343	3,522	3,343	105.4	成果指標(1)	回	8	13	13	14	13	107.7	成果指標(2)								総事業費・コスト把握	事業費		千円	33,365	36,389	36,025	36,025	35,647	<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) 「国・都からの支出金」は、通園グループ指導(たんぼぼ園)に含まれる。 * 国・都からの支出金は、通園指導(たんぼぼ園)としてバス運行分も含めて一括交付されているが、内訳については不明のためここに計上できなかった。	(内) 投資的経費等		千円						(内) 委託費		千円	33,365	36,389	36,025	36,025	35,647	職員数(常勤   非常勤)		人	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	4,587	4,641	4,621	4,621	4,621	非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	総事業費 ++		千円	37,952	41,030	40,646	40,646	40,268	単位あたりコスト( - )÷		円	149,417	161,535	160,024	161,294	158,535	財源	受益者負担分		千円						国・都等からの支出金		千円						特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	差引: 一般財源 -		千円	37,952	41,030	40,646	40,646	40,268	受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="6">17年度の主な取組み</th> <th colspan="5">内 容</th> <th>規模</th> <th>単位</th> <th>事業費(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td colspan="8"> </td></tr> <tr><td colspan="8"> </td></tr> <tr><td colspan="8"> </td></tr> <tr><td colspan="8"> </td></tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="5">( )</td> <td></td> <td></td> <td>36,025</td> </tr> </tbody> </table>										17年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)																																	その他	( )						
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%																																																																																																																																																																																																																					
				計画	実績																																																																																																																																																																																																																								
指標	活動指標(1)	日	254	254	254	252	254	99.2																																																																																																																																																																																																																					
	活動指標(2)	回	2,154	3,343	3,343	3,522	3,343	105.4																																																																																																																																																																																																																					
	成果指標(1)	回	8	13	13	14	13	107.7																																																																																																																																																																																																																					
	成果指標(2)																																																																																																																																																																																																																												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	33,365	36,389	36,025	36,025	35,647	<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) 「国・都からの支出金」は、通園グループ指導(たんぼぼ園)に含まれる。 * 国・都からの支出金は、通園指導(たんぼぼ園)としてバス運行分も含めて一括交付されているが、内訳については不明のためここに計上できなかった。																																																																																																																																																																																																																				
	(内) 投資的経費等		千円																																																																																																																																																																																																																										
	(内) 委託費		千円	33,365	36,389	36,025	36,025	35,647																																																																																																																																																																																																																					
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51																																																																																																																																																																																																																					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	4,587	4,641	4,621	4,621		4,621																																																																																																																																																																																																																			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0																																																																																																																																																																																																																			
	総事業費 ++		千円	37,952	41,030	40,646	40,646	40,268																																																																																																																																																																																																																					
	単位あたりコスト( - )÷		円	149,417	161,535	160,024	161,294	158,535																																																																																																																																																																																																																					
	財源	受益者負担分		千円																																																																																																																																																																																																																									
		国・都等からの支出金		千円																																																																																																																																																																																																																									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																						
差引: 一般財源 -		千円	37,952	41,030	40,646	40,646	40,268																																																																																																																																																																																																																						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																																																																																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="6">17年度の主な取組み</th> <th colspan="5">内 容</th> <th>規模</th> <th>単位</th> <th>事業費(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td colspan="8"> </td></tr> <tr><td colspan="8"> </td></tr> <tr><td colspan="8"> </td></tr> <tr><td colspan="8"> </td></tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="5">( )</td> <td></td> <td></td> <td>36,025</td> </tr> </tbody> </table>										17年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)																																	その他	( )							36,025																																																																																																																																																																		
17年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)																																																																																																																																																																																																																					
	その他	( )							36,025																																																																																																																																																																																																																				

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	99.2	活動指標(2)の17年度達成率%	105.4	17年度予算執行率%	100.0
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	通園事業に支障のない範囲で個別指導に来所する肢体自由児、アフターグループ通園等にも広げ、より有効に活用している。定員増への対応としてやむなく、平成16年度より二便制になっている。乗車時間が1時間以内で済むことと2便バスのスムーズな運行の為に幼児はポイント制としているが区内全域に渡った利用者への対応で困難はある。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・できるだけ自宅近くで乗り降りできるようにしてほしい。乗車時間は1時間以内にして欲しい等の要望がある。				
	今後の予測	16年度から2便運行での対応をしているが、療育内容などへ影響が出ないように様々な工夫をしてきた。年度途中の入退所もあり柔軟な対応が求められているが、現行の中では、安全対策も含め厳しい面がある。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 距離や天候に左右されることなく、継続的な通園を可能にする手段となっている。また園児にとっては、バス通園すること自体が発達を促がす機会となっている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由: 二便運行による時間の調整、活動内容に対して精一杯努力をしている。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 子どもの発達に精神的な不安を抱えている時期の保護者に対しさらに経済的負担を求めることは、療育の動機づけや継続的療育を実施する上での支障が大きい。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: すでに委託されており、安全なバス運行を持続するためにはこれ以上のコストダウンは不可能。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	理由または具体的内容: 通園バス3台の運行を民間事業者に委託している				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現状以上の対応は難しい。たんぼ園が増員される場合はバスの増設が必要。現状のままであれば利用者には負担がかかり、円滑な通園につながらない。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性 <input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 ・定員に見合った安全なバスの台数と運行が望ましい。

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		通園グループ指導(たんぽぽ園)				整理番号	435		枝番号								
担当部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	091011		連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	423						
係名					こども発達センター					上位施策名		No					
予算事業名					こども発達センター事業運営					コード		36550		障害児の援護の充実		27	
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		9 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等										
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 児童福祉法										
	心身に障害や発達に遅れのある就学前の児童とその保護者						(2) 杉並区こども発達センター条例										
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				幼児グループ・親子グループの14グループ。 自由遊び、設定遊び、社会体験活動を実施し、児童の発達を促す。 幼児グループにも親子通園日がある。		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 集団活動を通して、低年齢からの適切な療育を実施することにより、発達を促し、児童が身近な地域の中で、生活できるようにする。 保護者も療育の場に参加する事により、見通しをもって子育てできるようにする。										
活動指標名(式)				(1) 定員		(2) 通園児延べ数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 通園児童数 ÷ 通園希望児 (2)									
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%							
					計画	実績	計画		22年度								
指標	活動指標(1)		人	72	96	96	96	96		96	100.0						
	活動指標(2)		人	80	118	120	124	120		120	103.3						
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100		100	100.0						
	成果指標(2)																
総事業費・コスト把握	事業費		千円	12,219	14,445	14,952	13,978	14,787		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 「国・都からの支出金」には給食運営・通所バス分も含まれているが、内訳については不明なので、ここに一括して計上した。							
	(内)投資的経費等		千円														
	(内)委託費		千円														
	職員数(常勤   非常勤)		人	16.08	16.08	16.08	16.08	16.08									
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	144,624	146,328	145,685	145,685	145,685								
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0								
	総事業費 + +		千円	156,843	160,773	160,637	159,663	160,472									
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	2,178,375	1,674,719	1,673,302	1,663,156	1,671,583									
	財源	受益者負担分		千円													
		国・都等からの支出金		千円													
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0										
差引:一般財源 -		千円	156,843	160,773	160,637	159,663	160,472										
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)								
			日常生活指導						12,895								
			健康管理(耳鼻科・眼科・歯科)						588								
			専門療育(水・音楽・造形)						495								
			その他 ( )						0								

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	103.3	17年度予算執行率%	93.5
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	通園希望児の急激な増加をうけて、定員を暫定的に拡大して対応している。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年度、済美養護学校幼児教室の廃止に伴い定員を増やした。併せて幼児グループの親子通園日を減らした。 また、通園希望者の増加に伴い、16年度から暫定対応として定員を増やした。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	通園希望者を速やかに受け入れて欲しい。 通園日数及び時間延長の希望がある。				
	今後の予測	保健センターでの乳幼児健診の充実と、家庭での育児力の低下に伴い、低年齢からの通園希望者の増加が見込まれる。また、個別指導など個々の療育内容の充実を求める声が高まると予測される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 児童の成長発達及び保護者の精神面のフォローや子育て意欲の向上に結びついている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 児童に関わる他機関との連携を深め、役割分担をする中で、より早期に統合環境につなげる事ができると思われる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 児童の発達に不安をかかえている時期の保護者に対し、更に経済的負担を求める事は、療育につながる動機付けを下げ、継続的療育を実施するうえで支障がある。 なお、措置児童については、保護者の負担能力に応じて東京都が徴収している。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 障害の重度化・低年齢化に合わせて通園希望者の増加がある。人的対応や専門的アプローチが求められており、コストダウンは難しい。				
	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
協働等点検	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 ボランティアセンターから紹介のボランティアを受け入れ、通園児童の理解を深めてもらう機会にしている。				
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	親子通園の形態をとっているため、通園児の弟妹については託児ボランティアで対応してもらっている。				
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 軽度発達障害者支援法の成立に伴い軽度発達障害児のニーズの増、及び医療の進歩に伴い医療的ケアを含む重度の児童のニーズの増の二極化が考えられる。					
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 幼稚園保育園児童館など他機関と役割分担や連携をとりながら、通園事業の形態を考え進めていく。 定員の考え方については再考する。					
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 今後の方向性について多方面から検討する。					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		訓練及び行事				整理番号	436		枝番号		
担当部課名 保健福祉部 障害者施策課		コード	091011		連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	433		
係名 こども発達センター					上位施策名			No			
予算事業名 こども発達センター事業運営					コード	36550		障害児の援護の充実			27
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				9 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 児童福祉法 (2) 杉並区立こども発達センター条例 (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 園外訓練(遠足)、就学を祝う会、家族交流会 夏まつり 障害を持つため、地域の祭りに参加できない親子の祭りの体験をしてもらう。また、日頃センターに来所することの少ない父親や家族が来所する機会とする。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 子ども達が訓練や行事に参加し、さまざまな体験をすることを成長のきっかけとする。 日頃の活動の節目として子どもの成長と発達を促す。						
	活動指標名(式) (1) 園外訓練(遠足)等の参加者 (2) 夏まつりの参加者数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)園外訓練(遠足)等に参加した児童数 ÷ 対象児童数 = 参加率 (2) (代)夏まつりの参加数 ÷ 対象数 = 参加率						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		人	384	302	330	295	352	352	83.8	
	活動指標(2)		人	58	66	94	69	418	418	16.5	
	成果指標(1)		%	90	70	96	73	96	96	76.0	
	成果指標(2)		%	78	71	98	74	98	96	77.1	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	223	244	369	231	369	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) ・天候により中止になった社会体験もあった。 ・平成16年度からは、予算が執行された社会体験のみ載せている。社会体験としては予算執行以外にも、レストラン学習や公共交通機関を使った散歩などを実施しており参加意欲は高い。その際は受益者負担となっている。 ・夏まつりは個別指導も含めたセンター全体の行事で300人程の参加者がいるがここでは通園グループ児を対象としている。		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	11,692	11,830	11,778	11,778			11,778
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	11,915	12,074	12,147	12,009	12,147			
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	31,029	39,980	36,809	40,708	34,509			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	11,915	12,074	12,147	12,009	12,147				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		夏まつり							130		
		社会体験							90		
		就学を祝う会							11		
		その他 ( )							0		

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	89.4	活動指標(2)の17年度達成率%	73.4	17年度予算執行率%	62.6
	親子の健康状態、家族の養育等により参加できなかったため。悪天候により中止になり実施できないものもあった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	保護者に交通費を実費負担してもらうことにより、予算が削減できた。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	園外訓練の保護者の交通費を、実費負担にした。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	様々な社会体験をすることで、社会に出るきっかけや、自信につながるので今後も続けて欲しいとの要望がある。				
	今後の予測	内容・対象者についての見直しはあるが、訓練及び行事は子どもの成長には大事な取り組みであり、必要な行事である。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	心身の発達を促すためには、多様な体験の場が必要である。保護者同士の交流をすることで、育児不安が軽減されている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 内容や方法を工夫していく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 交通費や飲食費の負担をすでに行っている。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 受益者負担も行っている中でのコストダウンは難しい。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減              コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・現行以外でも必要な行事について検討した上で行事の見直しを行う。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		相談			整理番号	437		枝番号				
担当部課名		保健福祉部 障害者施策課		コード	091011		連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	425	
係名				子ども発達センター				上位施策名		No		
予算事業名				子ども発達センター事業運営		コード	36550		障害児の援護の充実		27	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				9 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区立子ども発達センター条例							
	心身の発達につまずきや障害があると思われる、区内在住の18歳未満の子どもの保護者及び関係者。				(2) 杉並区立子ども発達センター運営要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 電話・来所による相談を受け、適切な解決策が得られるよう援助する。				(3) 杉並区立子ども発達センター相談事業実施要領							
活動目標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
(1) 相談実施件数(電話相談・新規相談・医療相談)				相談者を受容し適切に対応することにより、保護者等が安心して療育・保育・教育等にのぞめるようになり、障害のある子どもの発達の機会が早期に保障される。								
(2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 相談により適切な療育を受けられるようになった数												
(2)												
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	件	683	737	780	819	850					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	件	680	730	780	801	850					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,812	1,651	1,664	1,616	1,664	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)投資的経費等	千円										
	(内)委託費	千円										
	職員数(常勤   非常勤)	人	3.19	3.23	4.03	4.03	4.03					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	28,691	29,393	36,512	36,512		36,512			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0			
	総事業費 + +	千円	30,503	31,044	38,176	38,128	38,176					
	単位あたりコスト( - )÷	円	44,660	42,122	48,944	46,554	44,913					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	30,503	31,044	38,176	38,128	38,176					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)				
	相談(一般相談・医療相談・専門相談・摂食指導)					2,519	件	1,663				
	その他 ( )							(47)				

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	105.0	活動指標(2)の17年度達成率%	17年度予算執行率%	97.1
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	相談件数 11年度476件 12年度504件 13年度592件 14年度620件 15年度683件 16年度737件 17年度819件				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	就学後の様々な相談に応じてほしいとの要望がある。				
	今後の予測	発達障害者支援法の施行に伴い、保健センターでの健診・専門相談の充実等から知的な遅れを伴わない発達障害児の相談件数増が見込まれる。また医療技術の進歩により、医療的な配慮が必要な重度障害児の相談件数増加が見込まれる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 区内における障害の早期発見・早期療育の中核を担っている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 保護者が安心して相談できるように、保健センター、幼稚園、保育園等関係機関との連携を図り、的確に相談に応じる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 有料化により早期相談の機会を失うため。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 医療相談は非常勤体制で実施している。				
	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄		
協働等点検	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 各機関間のコーディネート業務であるため、行政が直接行うことが必要である。				
	(3) 協働等の形態					
今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減              コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)      事業のあり方点検欄を踏まえて記入 増加する相談に対応するため、発達障害児への対策を早急に検討する					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	検討組織を発足させ、対策を講じる				

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		言語心理指導			整理番号	438		枝番号			
担当部課名		保健福祉部 障害者施策課		コード	091011		連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	426
係名				子ども発達センター				上位施策名		No	
予算事業名				子ども発達センター事業運営		コード	36550		障害児の援護の充実		27
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		9年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区立子ども発達センター条例					
	発達に遅れのある区内在住の18歳未満の子どもとその保護者					(2) 杉並区立子ども発達センター運営要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			言語・心理の専門技術により、対象者の発達全般を促すとともに保護者が障害を正しく理解し適切な対応ができるよう援助する。		(3)					
活動目標名(式)			(1) 個別指導及び専門相談実施件数		(2)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				
							言語・心理の専門的な指導によりその発達が促され、本人の可能性や能力が発揮できる。				
成果指標名(式)			(1) 個別指導及び専門相談を実施し向上した人数		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				
							(1) (代) 個別指導および専門相談を実施し向上した人数				
							(2)				
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
				計画	実績						
指標	活動指標(1)	件	4,603	4,786	4,700	5,036	5,000				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	人	354	382	380	619	600				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	26,123	32,868	36,655	35,606	37,700	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円									
	職員数(常勤   非常勤)	人	1.62	1.63	1.63	1.63	1.63				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	14,570	14,833	14,768	14,768		14,768		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0		
	総事業費 + +	千円	40,693	47,701	51,423	50,374	52,468				
	単位あたりコスト( - ) ÷	円	8,841	9,967	10,941	10,003	10,494				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0		0		
差引: 一般財源 -		千円	40,693	47,701	51,423	50,374	52,468				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み	内 容				規模	単位	事業費(千円)				
	言語心理指導				3,871	回	33,780				
	大画面タッチ型多人数コミュニケーションシステム				1	台	2,873				
	その他 ( )						(1,047)				

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	107.1	活動指標(2)の17年度達成率%	97.1	17年度予算執行率%	97.1
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	タッチ型多人数コミュニケーションシステムは17年度に導入済み					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	言語心理指導及び専門相談の実施件数 12年度 3,174件 13年度 4,231件 14年度 4,259件 15年度 4,603件 16年度 4,786件 17年度 5,036件				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	発達障害児への早期支援及び在籍園への支援の充実 学齢期児童への支援充実				
	今後の予測	発達障害児に対する幼児期から学齢期まで、一貫した支援体制を構築する必要がある。 学校・教育委員会と協力し特別支援教育の充実を図っていく。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 早期療育の実施により、発達の遅れや障害のある子どもの心身の発達を促している。またこどもに対する理解を深めることで保護者の育児上の困難を軽減している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 需要増に対して施設設備面が限界となっている。新たに支援対象として法律に位置付けられた軽度発達障害児への支援体制を整備する必要がある。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 継続的な指導を適切に実施することに支障をきたすと考えられる。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 現在も非常勤職員を配置して実施している。				
	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 各機関間のコーディネート業務を軸に総合的な支援を行なうことで大きな指導効果が得られるものであり、区が実施する必要がある。					
(3) 協働等の形態						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 発達障害に対する一貫した支援体制を構築し、関係機関と連携した指導を実施していく必要がある。 特別支援教育と連携した指導内容を確立する。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 教育分野と福祉分野との役割を明確にした上で、関係機関とのネットワーク構築を行なう必要がある。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	発達障害に対し幼児期から学齢期、成人期まで継続的な支援のあり方を検討し、発達障害支援体制を構築するため、学識経験者、民間シンクタンクを交えた検討会を設置する。				

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健指導			整理番号	439		枝番号				
担当部課名		保健福祉部 障害者施策課		コード	091011		連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	427	
係名				子ども発達センター				上位施策名		No		
予算事業名				子ども発達センター事業運営		コード	36550		障害児の援護の充実		27	
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		9年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区立子ども発達センター条例 (2) 杉並区立子ども発達センター運営要綱 (3) 杉並区立子ども発達センター保健医療事業実施要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				看護師の視診による子どもの身体状況の把握。口腔機能・摂食嚥下機能の評価および技術援助。保健・栄養相談に応じる他、保健だよりなどで保健情報を提供する							
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 保健指導実施件数 (2)							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		人	775	869	800	1,074	800				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		人	63	66	60	85	60				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,162	2,038	2,213	1,977	1,923	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.14	1.14	1.14	1.14	1.14				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	10,253	10,374	10,328	10,328			10,328	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0	
	総事業費 + +		千円	12,415	12,412	12,541	12,305	12,251				
	単位あたりコスト( - )÷		円	16,019	14,283	15,676	11,457	15,314				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	12,415	12,412	12,541	12,305	12,251					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		保健指導						件	2,212			
		その他 ( )							(235)			

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	134.3	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	89.3
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	摂食指導人数 11年度 58人 12年度 67人 13年度 65人 14年度 69人 15年度 63人 16年度 66人 17年度 85人				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	摂食指導対象児が所属する保育園・学校などから、職員に対する支援を充実してほしいという要望がある				
	今後の予測	医療的ケアの必要な障害程度が重い子どもが増えると思われる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 障害の状況は個人差が大きく、こどもの健康管理に対する指導・助言により継続した療育実施が可能になっている。 摂食指導は、豊かな日常生活の実現にはならないものといえる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 保健センター、保育園等から相談につながり易いよう、関係機関との緊密な連携をとる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 継続的な事業実施に支障をきたすと考えられる				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 摂食指導対象者は減少していないため、専門技術者の指導回数は減らせない。また、指導の効果を高めるためには他職種の関与も欠かせない。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 各機関間のコーディネート業務が必要であり、区が行う必要がある				
	(3) 協働等の形態					
今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減              コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)      事業のあり方点検欄を踏まえて記入 職員が指導技術を向上させることや保育園・学校等に対して知識・技術の支援を行うことにより、今後の対象拡大に対してコストを増やさずに対応する。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		運動機能リハビリテーション				整理番号	440		枝番号			
担当部課名		保健福祉部 障害者施策課		コード	091011		連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	428	
係名				子ども発達センター				上位施策名		No		
予算事業名				子ども発達センター事業運営		コード	36550		障害児の援護の充実		27	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				9 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区立子ども発達センター条例							
	区内在住の18歳未満で運動機能に障害があり、日常生活動作が困難な子どもとその保護者及び関係者				(2) 杉並区立子ども発達センター運営要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 理学療法及び作業療法の専門技術により対象者の運動発達を促すとともに、保護者が障害を正しく理解し適切な対応ができるよう援助する。補装具相談を実施する。				(3)							
活動目標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
(1) リハビリテーション個別指導及び専門相談実施件数				対象者の発達が促され、もてる能力を最大限に発揮して可能な限り質の高い日常生活を送ることができるようにする。								
(2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) リハビリテーション個別指導及び専門相談実施人数				(1) リハビリテーション個別指導及び専門相談実施人数								
(2)				(2)								
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	件	3,046	2,770	2,800	2,987	2,800					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	人	160	162	160	177	160					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	4,136	4,122	3,982	4,115	3,884	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)投資的経費等	千円										
	(内)委託費	千円										
	職員数(常勤   非常勤)	人	3.67	3.67	3.67	3.67	3.67					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	33,008	33,397	33,250	33,250		33,250			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0			
	総事業費 + +	千円	37,144	37,519	37,232	37,365	37,134					
	単位あたりコスト( - )÷	円	12,194	13,545	13,297	12,509	13,262					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	37,144	37,519	37,232	37,365	37,134					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)				
	運動機能リハビリテーション					2,987	件	3,980				
	その他 ( )							135				

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	106.7	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	103.3
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	リハビリテーション登録者数 11年度113人 12年度147人 13年度131人 14年度193人 15年度160人 16年度162人 17年度177人				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	保育園・幼稚園・学校等関係機関から支援の要望がでている。				
	今後の予測	障害が重く医療的な配慮の必要な児が増えてくると思われる。 教育機関との連携を求める声が強くなると思われる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 ) ▼		理由: 早期からリハビリを開始することで、適切に運動発達を促がしている。医療的ケアの必要な児等障害の重い児への個別指導の需要に応えている。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) ▼ 成果向上のための方策 その他(具体的内容 ) ▼		理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 関係機関との連携による個別指導の充実を図る。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 ) ▼		理由または具体的内容: 継続的指導を適切に実施することに支障をきたすと考えられる。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 ) ▼		理由または具体的内容: 現在も非常勤職員を配置して実施している。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 ) ▼		協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄	
	(2) 協働等の相手		協働等による成果と課題 各機関間のコーディネート業務を軸に総合的な支援を行なうことで、大きな指導効果が得られるものであり、区が実施する必要がある。			
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	<b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 医療的ケアの必要な児等重度障害児に対する支援体制を充実させる必要がある。 幼児期における発達障害児に対する支援(OT)を充実させる必要がある。	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		巡回指導			整理番号	441		枝番号				
担当部課名		保健福祉部 障害者施策課		コード	091011		連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	429	
係名				子ども発達センター				上位施策名		No		
予算事業名				子ども発達センター事業運営		コード	36550		障害児の援護の充実		27	
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		9 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区立子ども発達センター条例 (2) 杉並区立子ども発達センター運営要綱 (3) 杉並区立子ども発達センター巡回指導実施要領					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				心身の発達につまずきや障害があると思われる、区内在住の18歳未満の子どもの保護者及び関係者  児童精神科の医師や心理の職員が保育園・幼稚園に出向き、担当者の相談に応じ助言指導・情報交換を行うことで、相互に協力しながら障害児の抱える課題の解決を図る。							
	活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 保育担当者が不安なく障害児保育に従事し、適切に指導することで障害児の地域での生活が充実する							
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
				(1) 巡回指導実施件数				(1) (代)巡回指導を受けた保育園児・幼稚園児・小学生の数				
				(2)				(2)				
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	件	313	391	400	431	430					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	人	128	127	130	128	130					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	5,324	8,882	9,154	8,656	9,174	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)投資的経費等	千円										
	(内)委託費	千円	5,324	8,882	9,154	8,656	9,174					
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.49	1.00	1.10	1.10	1.10					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,407	9,100	9,966	9,966		9,966			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0			
	総事業費 + +	千円	9,731	17,982	19,120	18,622	19,140					
	単位あたりコスト( - )÷	円	31,089	45,990	47,800	43,206	44,512					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	9,731	17,982	19,120	18,622	19,140					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)			
	巡回指導(委託)						291	回	9,154			
	その他 ( )								(498)			

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	107.8	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	94.6
園の希望調査をしたところ、医師よりも心理の巡回を望むところが多かった。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	巡回指導実施回数 11年度 241回 12年度 251回 13年度 243回 14年度 246回 15年度 313回 16年度 391回 17年度 431回				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	保育園・幼稚園から、回数増の他、訪問時間、訪問時期等きめ細かな対応を求められている。				
	今後の予測	障害児認定児以外の発達障害を疑わせる児の相談が今後も増加すると思われる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由：障害児の発達を促すためには、療育に関わる機関相互の連携が不可欠であり、療育システムを形作る中心的事業となっている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由：必要とされる医師、心理職の訪問回数を園のニーズに合わせて対応していく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由：巡回先は公的機関が中心であり有料化には馴染まない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由：すでに外部委託にて実施している。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方：		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 回数増に伴い、事業者との意思疎通をきめ細かく行う必要がある。				
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )					
今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果：</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト：</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 心理職が集中的に訪問する重点園型を増やし、園全体を支援する。 発達障害を疑わせる児への対応を含め、園の需要に応じた訪問形態を整えていく。					
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 重点園型の対象を拡大することでコスト増につながるため、実施方法を検討していく必要がある。					
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
(2) 理由						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		療育講座等			整理番号	442		枝番号								
担当部課名		保健福祉部 障害者施策課		コード	091011		連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	430					
係名				こども発達センター				上位施策名		No						
予算事業名				こども発達センター事業運営		コード	36550		障害児の援護の充実		27					
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		9 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等									
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区立こども発達センター条例 (2) 杉並区立こども発達センター運営要綱 (3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				こども発達センター利用児の保護者 関係機関職員  療育講座 (年2回) リハビリテーション講座 (年1回) 摂食指導講演会 (年1回) 施設公開 (年1回)											
	活動指標名 (式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 保護者がこどもの状況を理解し、将来に見通しをもった子育てができるようになる。障害や子育てについての最新知識や情報を得ることにより、地域での受け入れや関係機関との連携をスムーズにする。											
				成果指標名 (式)				(代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
				(1) 各種講座延参加者数				(1) (代)参加者数 ÷ センター利用登録者数 (療育講座) = 参加率								
				(2)				(2)								
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度計画		18年度計画		目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
指標	活動指標 (1)		人		169		191		190		243		200			
	活動指標 (2)															
	成果指標 (1)		%		38		40		40		36		40			
	成果指標 (2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円		204		201		213		207		451		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円													
	(内) 委託費		千円													
	職員数 (常勤   非常勤)		人		0.70		0.70		0.80		0.80		0.80			
	人件費	常勤職員分 (超勤分含む)		千円		6,296		6,370		7,248		7,248		7,248		
		非常勤職員分		千円		0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円		6,500		6,571		7,461		7,455		7,699			
	単位あたりコスト ( - ) ÷		円		38,462		34,403		39,268		30,679		38,495			
	財源	受益者負担分		千円												
		国・都等からの支出金		千円												
特定財源計 +		千円		0		0		0		0		0				
差引: 一般財源 -		千円		6,500		6,571		7,461		7,455		7,699				
受益者負担比率 ÷		%		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
17年度の主な取組み		内 容						規模		単位	事業費 (千円)					
		療育講座						123		人	138					
		施設公開						93		人	60					
		職員研修						1		回	14					
		その他 ( )									(5)					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	127.9	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	97.2
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		タッチパネル式多人数コミュニケーションシステム発表会の開催					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	講座の内容に関する要望が多岐かつ専門的になってきたのでテーマを絞って実施している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	子育てをする上での励みとなるなど、適切な情報や最新の知識の修得に役立っているとの声が寄せられている。 幼児期や学齢期、障害別など対象を絞り、事例に即して具体的に講義をしてほしいとの要望がある。					
	今後の予測	子どもの発達に不安を抱える保護者は常にいるので、入門的な内容の講座の需要は変わらない。子育ての幅が広がるような児への関わり方や発達障害に関する発達のアンバランスに対する理解や配慮した子育て等の需要が高まると予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 保護者の障害に対する理解をすすめるとともに、関係機関職員 の知識習得や連携の契機となっている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 事前に参加希望者の質問事項を集約し、 講演内容に反映させる。来場者に講演内容の感想や次回の希望 テーマを伺う等により、講師、テーマを選考している。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 障害児の総合的療育体制を実現するための 啓発・基盤整備の一環として行うことが必要であり、受講料設定は なじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 総事業費は削減できないが、参加人数を増 やすことにより1件あたりのコストを下げることは可能である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 区が直接実施した方が効率的である。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 センター利用者、関係機関のニーズを把握し、日常の支援に活かせる内容にしていく。	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	